

ウルソの定期投与で発育が向上！

【背景・目的・成果】

ウルソデオキシコール酸(以下ウルソ)には、肝血流量増加作用による肝臓の代謝機能向上、リパーゼの活性化による脂肪の消化促進などの効用があります。そこで、濃厚飼料の増給および血中ビタミンA濃度の低下により肝臓への負荷が高まる肥育前期から中期におけるウルソ製剤の定期投与が黒毛和種去勢牛の産肉性に及ぼす影響を検討しました。その結果、肥育中期において2週間ごとにウルソとして日量2.5 gを3日間連続経口投与した区は、定期投与をしなかった区に比べて、同期間中に濃厚飼料摂取量の増加を介した発育向上効果が認められました。

処理区の構成

対照区 : ウルソを投与しない

ウルソ前中期区 : 肥育前期(12~14か月齢)および肥育中期(15~22か月齢)において2週間ごとにウルソとして日量2.5 gを3日間連続経口投与

ウルソ中期区 : 肥育中期(15~22か月齢)において2週間ごとにウルソとして日量2.5 gを3日間連続経口投与

肥育期別の一日当たり飼料摂取量

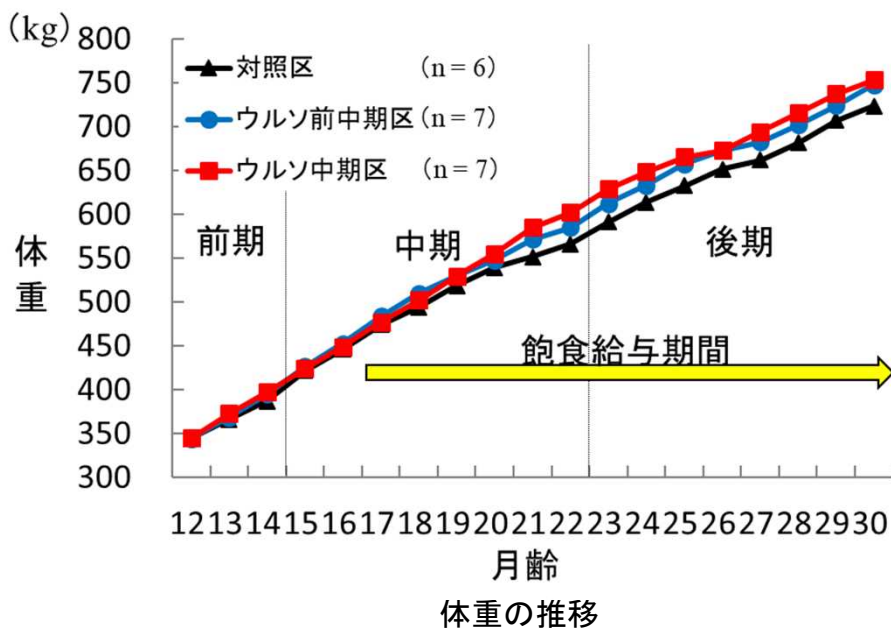
項目(単位)	肥育期間	対照区	ウルソ前中期区	ウルソ中期区
		(n=6)	(n=7)	(n=6)
濃厚飼料摂取量 (乾物kg/日)	前期	4.57	4.64	4.69
	中期	6.13 ^b	6.34 ^{ab}	6.79 ^a
	後期	6.38	6.79	7.02
粗飼料摂取量 (乾物kg/日)	前期	2.23	1.95	2.09
	中期	1.37	1.32	1.26
	後期	0.86	0.87	0.79

ab: 行内異符号間に有意差あり(P < 0.05)

肥育期別の一日平均増体量

項目(単位)	肥育期間	対照区	ウルソ前中期区	ウルソ中期区
		(n=6)	(n=7)	(n=7)
全期間		0.69	0.73	0.74
一日平均増体量 (kg/日)	前期	0.80	0.85	0.82
	中期	0.71 ^b	0.78 ^{ab}	0.86 ^a
	後期	0.61	0.63	0.58

ab: 行内異符号間に有意差あり(P < 0.05)



【技術の活用】

普及センター、家畜保健衛生所などの指導機関と情報を共有し、農家指導に活用します。

